

鐵道
、 関
部西

1	2	3	4
二函	架	冊	一〇類

自明治三年七月
至同 十年十二月

工
部
省

国立公文書館	
分類	
排架番号	2 A
	33-5
	① 123

123

工部省

正誤

○九月関西ノ停車場神戸ニ於テハ元福原大坂

ニ於テハ堂島ト議定ス梅田ニ定ム

午日 三月 七月 大阪神戸ニ出張所ヲ設ケ関西

大阪神戸ニ出張
所ヲ設ケ関西鐵
道局ト稱ス

鐵道局ト稱シ民部少輔吉井友實大坂府権少
参事兼民部少丞土肥肯一土木司権正平井希

昌等其事務ニ任ス

阪神間ノ測量
ヲ稱ス

八月阪神間三十一里九里四町線地ノ測量ヲ始ム
而シテ英人建築師エングラント等其業ヲ勤

神戸大坂停車場
場ノ測量ヲ称ス

九月関西ノ停車場神戸ニ於テハ福原大坂ニ

於テハ堂島ト議定ス後堂島ヲ福原ヲ梅田ニ相生町ニ

閏十月攝州免原郡石屋川トシテ子ル築造ノ工

工部省

鐵道ノ開闢

庚午 明治三年七月大阪神戸ニ出張所ヲ設テ関西

鐵道局ト稱シ民部少輔吉井友實大阪府權少

參事兼民部少丞土肥肯一土木司權正平井希

昌等其事務ニ任ス

八月阪神間(里程九里四町)線地ノ測量ヲ始ム

而シテ英人建築師エングラント等其業ヲ勤

ム

九月関西ノ停車場神戸ニ於テハ福原大阪ニ

於テハ堂島ト議定ス(後堂島ヲ福原田ニ相定ム)

閏十月攝州兔原郡石屋川トシテ子ル築造ノ工

鐵道ノ開闢

大阪神戸ニ出張所ヲ設テ関西鐵道局ト稱ス

阪神間ノ測量ヲ始ム

神戸大阪停車場ノ位置ヲ定ム

佐藤與之助小
野友五郎等京
數回鐵道建設
ノ急務ヲ論シ
意見書ヲ申達
ス

神戸停車場
鐵波戸場築造
ノ議ヲ議ス

ヲ起ス

十一月橋本小一郎(後則稱順)工部省出仕ヲ命セ
ラレ坂神間鐵道ノ事務ヲ擔任ス

未^辛明治四年正月工部省出仕佐藤與之助同準十

等出仕小野友五郎等東海沿道ヲ巡視シ西京

ヨリ越前敦賀ノ線路ニ鐵道ノ布設方今ノ急

務ヲ論シ意見書ヲ進達ス

三月十日西京ヨリ越前敦賀マテ鐵道ノ線路

測量致スヘク旨ヲ達セラレ○是月神戸停車

場ニ鐵波戸場築造ノ議ヲ決シ建築師ヲ英國

ニ囑ス(五年五月廿九日)渡米ス月間

約備ス(入ヲ)四月西京大坂間ノ線路測量致スヘク旨ヲ達

セラル○是月京數間線路測量トシテ各所へ

出張ノ外國人ニ辨官ノ印鑑攜帶旅行スヘキ

旨令アリ

六月十六日京數ノ西所ニ出張寮ヲ置キ大津

高槻觀修寺村海津山中驛ノ五ヶ所へ出張所

ヲ設ケ線地ノ測量ヲ始ム其里程ハ攝州河邊

郡神崎村ヨリ吹田村通リ城州乙訓郡山崎驛

ヲ經テ西京八條通リ西東洞院間ノ停車場ニ

至ル十三里許同所ヨリ江州海津驛停車場ニ

至ル十六里許同所ヨリ越前敦賀ニ至ル七里

許合計四十里トス英人「グラントル」ウイソボ

ルノニ氏測量ノ業ヲ負擔シ鐵道助佐藤政
養其事務ヲ擔任ス○坂神間鐵道建築用ノ石

京數兩所出
出張寮ヲ設ク
路測量ヲ始ム

関西鐵道局
印廢鐵道
掛印改

攝州免原郡石
屋川上成ル

三井郎右衛門等
鐵道會社創
立請願ヲ許可ス

材斫出中攝州免原郡打出村ヲ本省ノ所轄ト
ス是ヨリ先阿州小豆島繪島等ノ石材ヲ用キ
海路數十里ノ運輸ニ日子ヲ費シ工業上不便
歎ナカラサルヲ以テナリ
七月阪神出張所ニ於テ関西鐵道局ノ印ヲ廢
シ大坂出張鐵道掛神戶出張鐵道掛ノ印ニ改
メ○是日攝州免原郡石屋川トシ子ル落成其
經費ノ總額金四万六千六百九十九圓三貫百拾
四文許トス
十一月京都府下ノ豪商三井八郎右衛門始メ
數名ノ發起ヲ以テ鐵道會社ヲ結ビ公費ヲ補
ハントノ請願ヲ允可セラレ詎規則ヲ府縣ニ
頒布シ株券ノ販賣ヲ許可ス

鐵道頭井上勝
京坂間鐵路測
量並經費豫
算ヲ上申

壬申 明治五年正月廿三日鐵道頭井上勝ヨリ左ノ

線路ノ測量并ニ經費ノ豫算ヲ上申ス

京坂間鐵道線路ハ捷迂甲乙ノ二途ニシテ

甲ノ一途ハ大坂當島ヨリ捷路ヲ取リ本庄

中津ヲ貫キ直キニ吹田村ニ達スルモノトス

乙ノ一途ハ大坂當島ヨリ神寄村ニ至リ(神

既成線)右ニ逆行シテ吹田村ニ達シ西京ヨ

リノ直道ト曾ス而シテ甲ノ里程ハ英里ニ

十八マイル十五ニシテ單線築費百拾九万

五千九百九拾弗(英一里ニ付四百萬圓)架橋其

他複線ヲ設ル其費拾壹万八千九百三拾貳

弗許(英一里ニ付四百萬圓)乙ノ里程ハ英里三十

マイル零五九ニシテ神寄村ヨリ西京マテ

京坂間鐵道
線ヲ議ス

京都府參事
村正直御掛
命

單線築費百拾八万二千零二拾三弗(英一里二
千六百)架橋其他複線ヲ設ル其費九万五千
三百七拾弗許(英一里二拾五弗)甲ノ合計ハ
百三拾壹万四千八百四拾壹弗ニシテ乙ノ
合計ハ百二拾七万六千三百九拾三弗トス
二月五日前月上申ノ坂京間ノ線大坂堂島ヲ
リ本庄中津ヲ貫キ吹田ニ達ル捷路ノ方ニ議決
セラレ而シテ十五日阪京間鐵道布設ノ旨ヲ
布告セラル○廿九日工部少輔山尾庸三阪地
へ出張尋テ京都府參事榎村正直御用掛ヲ命
セラレ西京出張寮ニ於テ其事務ヲ管理ス○
阪神京坂間鐵道建築資用ノ木材ハ官林内ニ
於テ五木ノマ、地所トモ投票ヲ以テ一旦商

鐵道助揚本則
順ヲ免ス

鐵道建設會
人民會社任
結社ノ方法大藏
省ニ委任旨指
令

買ニ拂下ケ然ル後テ落札人ヨリ買上クヘク
旨ヲ京坂西府ヲ始メ其沿道諸縣ニ布達ス○
西京東本願寺持枳穀郎(地坪八千八百九十三
五錢八四零)ヲ購收シ稟准ノ上當寮出張所ノ用
地トス(十年七月京坂間線路竣工隨テ該所不
用ニ屬スルヲ以テ稟議ノ上元價ヲ以
テ全寺工)○五月二十日鐵道助正六位橋本則
順本官ヲ免シ位記ヲ返上セシム○廿四日鐵
道助河口淳坂地在勤ヲ命セラレ(本年四月八
日六等出仕
助ニ任ス)
明治六年一月十二日鐵道ノ建設ハ自今人民ノ
會社ニ任セ結社ノ方法ハ大藏省ニ委任セラ
ル、旨令アリ而シテ曩キニ工部少輔山尾庸
三ノ稟請ヲ却下セラル

昨五年九月某日山尾庸三上申、略従来電線築道ノ儀ハ人民ニ任セ會社ヲ以テ維持スルノ方法行ハレ難ク既ニ英國政府ニ於テハ従前會社持ノ電線巨額ノ金ヲ以テ購買セシ由シ御國ニ於テハ今日創建ノ際一旦人民ニ附與シ再ヒ買上等ハ不体裁ニ付會社金ヲ當省ニ於テ年七銖ノ利ヲ以テ借上テ竣功開業ノ上収入金ノ内ヨリ利子及ヒ運輸修補其他一切ノ諸費ヲ引去リ純益金三分ノ一ヲ該社ニ交付シ二十年ヲ俟テ悉皆元金ヲ還附スルヲ得ト云フ尋テ錢道建築手續書ヲ進呈ス

三月四日昨五年正月中調達セシ京坂間建築

京坂間建築費
増額ヲ申稟ス

費ノ豫算今般物價騰貴ノ故ヲ以テ尚ホ建築首長ボイル實地精算ヲ遂ケシニ英法一里ニ付五万七千五百拾八弗ニシテ即チ總計百五拾六万四千五百拾弗許而シテ前年ノ豫算ニ比スレハ一里ニ付壹万八百拾弗ヲ加シ即チ惣額廿四万九千六百六拾九弗ヲ増加セシ旨ヲ申稟ス(五年正月ノ條)

五月二十日神戸停車場ヨリ蘆屋川トニ子ルマテ(英里ハマ)汽車並ニ土運車ノ運轉ヲ試ム

○卅一日坂神間ノ建築費自今大藏省準備金ヲ以テ工部省ニ貸與シ(無利)而シテ落成ノ日運輸賃ヨリ生スル處ノ純益金ヲ以テ準備金ニ充テシメ又京坂間ノ建築費ハ會社ノ醵金

神戸停車場ヨリ
蘆屋川トニ子ル
迄試運轉ヲ始

大藏省豫算裁
大藏省申稟旨
ヲ以テ準備金
以テ建築費充
ツ

京阪間鐵道布
改工ヲ起ス
鐵道會社解散
旨指令

ヲ大藏省へ借上ケ年七銖ノ利ヲ以テ工部省
へ貸與シ同省定額金ヨリ其利子ヲ支辨セシ
ルルノ法大藏省事務總裁大隈重信ヨリ稟
是日ヲ以テ允可セララル(東京ノ部八年七月
ノ條ヲ參考スヘシ)
十二月廿六日京阪間鐵道布設ノ工ヲ起ス
廿八日関西鐵道會社工詮議ノ趣モ是トアリ
解社致スヘク設立以來ノ消費ニ對シ金壹万
五千円ヲ下賜セララル、旨令アリ

過ル五月某日大藏卿大隈重信ヨリ上申ノ
略叢キニ工部大藏兩省京都府及ヒ鐵道會
社頭取等ト議定書ヲ製シ稟請以來西京ノ
景況日ニ衰頹而シテ該地ニ限リ人民不得
心ノ建築費ヲ募リ會社不應力ノ事務ヲ課

スルニ至ラハ到底成業ヲ期シ難ク此際断
然該社ヲ解散シ更ニ工部省ト戮力協議シ
別ニ恰當ノ方法ヲ設ク可ク而シテ該社ノ
結約ハ當初府廳ノ勸誘ニ出ツルモノニテ
今日解散セシムルニ於テハ設立以來ノ消
費金壹万乃至壹万五千円ヲ下附セラレ度
ク建築募金ノ方法ハ追テ具上スト云フ

竹田春風鐵道助
任シ大坂在勤

鐵道權頭太田資
政神戸在勤

坂神間鐵道落成
假運轉ヲ經ル

明治七年二月七日工部少丞竹田春風鐵道助ニ
任シ京都大坂神戸へ出張尋テ大坂在勤ヲ命
セラル○十五日鐵道權頭太田資政京都大坂
神戸へ出張尋テ神戸在勤ヲ命セラル
五月十一日坂神間鐵道落成(此距離八里十町
三十一間八五即
チ英里ニサマ
ヤイニ三十五
リシガ)而シテ神戸三ノ宮ノ

坂神間電線架設
成

住吉神寄停車場
場開

瓜生寅鐵道助
任シ大坂在勤

坂神間鐵道布設
起業以來、經費
總額

二停車場ヲ開キ西ノ宮ハ假停車場ヲ設ケ是
日ヲ以テ假運轉ヲ叙メ乗客並ニ携帶荷物ノ
賃金表ヲ頒布ス○是日坂神間鐵道ニ屬スル
電線ノ架設竣工(一里程八里十)而シテ電信局ヲ
四ヶ所ニ開ク(梅田、西ノ宮、神戶、大宮)
六月一日住吉神崎ノ二停車場ヲ開キ改正賃
金表ヲ頒布ス○三日瓜生寅鐵道助ニ任シ大
坂在勤ヲ命セラル○坂神間鐵道ノ布設明治
三年七月起業以來本月ニ至ル經費ノ總額金
貳百四十五萬貳千三百七拾四七拾九錢三厘
貳毛洋銀五拾八萬七千貳百六拾三セシト
其他金五萬三千五百四拾トス而シテト子
ルヲ設ル石屋、住吉、蘆屋ノ三川ニシテ鐵橋ヲ

坂神間ト子ノ設
三川鐵橋架設
四ノ木橋架設
四ノ停車場架設
所トス

坂神間汽車常業
切手、賃金ヲ受

死尸及ヒ鳥獸類
運輸ヲ始ム

架スル武庫、神崎、中津、又十三川ノ三川ナリ木橋
ヲ架スル大小三十四ヶ所停車場ヲ設クル神
戶、大坂、三宮、西ノ宮、神崎、住吉ノ六ヶ所トス
七月十八日坂神間汽車常業切手ノ賃金ヲ評
定ス(三四月九ヶ月間上等金百貳拾四中等金八拾
拾七下等金六拾四)五ヶ月間上等金七拾五中等金五拾
四下等金三拾四)六ヶ月間上等金四拾四中等金三拾
四下等金二拾四)七月間上等金四拾四中等金三拾四
下等金二拾四)八月廿四日衆庶ノ便宜ヲ慮リ死尸及ヒ鳥獸
類ノ運輸ヲ始ム(死尸ハ全路金五拾四以上、鳥獸ハ五

増補

○是歲坂神間汽車運轉始業以來本月至ル乘客ノ數ヲ總計ス測量不日ニ卒業
四拾五萬壹千拾五ニシテ其乘客貨物賃金等ノ收入金拾五萬壹千零
拾貳圓四拾四錢四分許而シテ營業費、支出額ハ金九萬八千貳百九拾圓
貳拾五錢九厘許ナリト云

州名古屋、屋ヲ線地ノ測量ニ著手致シ度ク申

坂神間電線架設
成

住吉神崎停車場
開

瓜生寅鐵道助
任シ大坂在勤

坂神間鐵道布設
起業以來、經費
總額

二停車場ヲ開キ西ノ宮一假停車場ヲ設ケ是
日ヲ以テ假運轉ヲ叙メ乗客並ニ携帶荷物ノ
賃金表ヲ頒布ス○是日坂神間鐵道ニ屬スル
電線ノ架設竣工一里程八里十間而シテ電信局ヲ
四ヶ所ニ開ク(梅田、西ノ宮、神戶、大宮)
六月一日住吉神崎ノ二停車場ヲ開キ改正賃
金表ヲ頒布ス○三日瓜生寅鐵道助ニ任シ大
坂在勤ヲ命セラル○坂神間鐵道ノ布設明治
三年七月起業以來本月ニ至ル經費ノ惣額金
貳百四十五萬貳千三百七拾四七拾九錢三厘
貳毛洋銀五拾八萬七千貳百六拾三セシト
其他金五萬三千五百四拾トス而シテトシ子
ルヲ設ル石屋、住吉、蘆屋ノ三川ニシテ鐵橋ヲ

坂神間上ノル架設
三川鐵橋ヲ架スル
四ノ木橋ヲ架スル
四ノ停車場ヲ設
ケル

坂神間汽車常業
切手ノ賃金ヲ定ム

死尸及ヒ鳥獸類
運輸ノ始

神戶
西ノ宮
大宮
梅田
三ノ宮
北ノ區
南ノ區
新大塚
新大塚
新大塚

架スル武庫、神崎、中津、又十三川ノ三川ナリ木橋
ヲ架スル大小三十四ヶ所停車場ヲ設ケル神
戶、大坂、三宮、西ノ宮、神崎、住吉ノ六ヶ所トス
七月十八日坂神間汽車常業切手ノ賃金ヲ評
定ス(十一月九ヶ月間上等金百貳拾四圓中等金八拾
拾七圓四ヶ月間上等金七拾五圓中等金五拾六
圓三ヶ月間上等金四拾四圓中等金三拾四圓トス)
八月廿四日衆庶ノ便宜ヲ慮リ死尸及ヒ鳥獸
類ノ運輸ヲ始ム(死尸ハ全路金五圓以上鳥獸ハ五
圓以上トス)
十二月廿五日京敷間線地ノ測量不日ニ卒業
而シテ測量方備外國人定約期限内ニ付直チ
江州湖水ヨリ中仙道通リ美濃路ヲ經テ尾
州名古屋マテ線地ノ測量ニ著手致シ度ク申

稟ノ旨ヲ允可セラレ沿道諸縣一京都府、滋賀、
其旨ヲ達ス

明治八年一月廿日鐵道推頭太田資政清國ヨリ
歸朝是日神戸ニ至ル○坂神間運輸守線手以
下ノ日給區別ヲ改正ス

内國通運會社頭
取吉村甚兵衛外一
名ニ京橋間運輸
荷物ヲ扱ハシム

三月廿七日京橋間運輸荷物ノ取扱ヒ三井組
ノ例ニ準シ内國通運會社頭取吉村甚兵衛外
一名ハ其扱ヲ命ス

鐵道助瓜生寅運
輸局轉任

四月一日坂神間ノ發車午後七時及十時ノ二
回ヲ加ハシ往復トナス旨ヲ頒布ス是レ旅客
ノ員數増殖スルヲ以テナリ○十五日大坂在勤
鐵道助瓜生寅東京新橋運輸局ハ轉任ス○十
七日鐵道推頭佐畑信之京都在勤ヲ命セラレ

鐵道推頭佐畑信
之京都在勤

○是日七等出仕小野友五郎越後美濃兩國ノ
鐵道線路測量トシテ發達新潟岐阜ノ二縣ハ
其旨ヲ達ス

安治川枝線竣工
運輸業ヲ稱シ

五月一日安治川枝線竣工是日全所ノ停車場
ヲ開キ賃金表ヲ頒布ス是線大坂停車場ノ西
邊ヨリ分岐シ安治川ノ北岸ニ達ス一マイル
六十ヤイニ許トス(本年四月大坂造幣寮ノ
白馬車道敷地七十坪有
餘鐵線及所屬ノ機關車
補ト云)○十五日鐵
道建築用地(官用)不用ニ屬スル分今般ノ布令
ニ據リ内務省ハ納付スヘクノ所鐵道用ニ限
リ特別ノ御處分ヲ以テ其府縣ハ拂下ケ該金
ヲ以テ他ノ用地買上ノ費ニ充テ度ク稟請ノ
旨ヲ允可セラレ○廿二日京都ヨリ中仙道通

大坂堂島停車場
用地ノ内務省納
付ス

リ美濃路ヲ經テ名古屋迄線路測量ニ付沿道
ノ官林及ヒ社寺ノ境内ヲ問ハズ視線ヲ遮碍
スル竹木伐採ノ旨ヲ各府縣ニ布達ス

六月廿三日曩キニ假定ノ大坂堂島停車場用

地壹万八百貳拾九坪四合許不用ニ屬スルヲ

以テ(西成郡曾根崎村)是日內務省ニ納付ス(過

五月十五日梅田一轉換)是日內務省ニ納付ス(過

神間運輸課守線手「ポイント」ニシクナルメ

神間運輸課守線手「ポイント」ニシクナルメ

神間運輸課守線手「ポイント」ニシクナルメ

神間運輸課守線手「ポイント」ニシクナルメ

神間運輸課守線手「ポイント」ニシクナルメ

神間運輸課守線手「ポイント」ニシクナルメ

神間運輸課守線手「ポイント」ニシクナルメ

神間運輸課守線手「ポイント」ニシクナルメ

神間運輸課守線手「ポイント」ニシクナルメ

神間運輸課守線手「ポイント」ニシクナルメ

神間運輸課守線手「ポイント」ニシクナルメ

神間運輸課守線手「ポイント」ニシクナルメ

神間運輸課守線手「ポイント」ニシクナルメ

神間運輸課守線手「ポイント」ニシクナルメ

神間運輸課守線手「ポイント」ニシクナルメ

神間運輸課守線手「ポイント」ニシクナルメ

神間運輸課守線手「ポイント」ニシクナルメ

神間運輸課守線手「ポイント」ニシクナルメ

神間運輸課守線手「ポイント」ニシクナルメ

神間運輸課守線手「ポイント」ニシクナルメ

神間運輸課守線手「ポイント」ニシクナルメ

正誤

○是歲一月ヨリ本月ニ至ル坂神間瀛車乘客總計奉_二五拾九万五_一ル神戸運
八千三拾四人ニシテ其乘客貨物積金等ノ收入金拾三万八千九百貳拾三四
拾五錢九厘許營業費ノ支出額金七万九千三百六拾七圓五拾六錢五厘許ナ
リ而シテ七月以降ノ計算_二過_一五月ノ令條_二據_一據_二東京ノ部_一會計_二年度_一以_二拾_一志_二弗_一八_二七_一
テ表_二揭_一クモ_二ト_一ス以下_二ニ_一準_二ス

ニト許ニシテ收入ノ總計ハ金拾万七千百三

圓七拾三錢貳厘洋銀四百六拾九弗許トス而

シテ七月以來ノ計算ハ過ル五月ノ令條ニ據

リ會計年度ヲ以テ表ニ掲ルモノトス以下之

ニ準ス

九月五日暫ク洛東ノ測量ヲ罷メ目途金拾志

万九千三百圓ノ内三万貳千五拾三圓九拾錢

ヲ減シ八万七千貳百四拾六圓拾錢ヲ以テ七

月以降ノ諸費ニ充ツヘキ省議ヲ決ス(廿日

午前六時大坂停車場ニ於テ客車荷車連合ノ

際驛夫吉田秀章列車ニ撞觸シ為メニ顛_二跌_一シ

テ左足ヲ輕傷ス是レ運轉方英人_二テ_一口_二ツ_一ク_二氏

ノ過失ニ出ツルヲ以テ増給約定期限一ヶ月

ヲ延_二一_一其罪ヲ罰ス

大坂堂島停車場
用地ノ内務省納
付ス

リ美濃路ヲ經テ名古屋迄線路測量ニ付沿道
ノ官林及ヒ社寺ノ境内ヲ問ハス視線ヲ遮碍
スル竹木伐採ノ旨ヲ各府縣ヘ布達ス
六月廿三日曩キニ假定ノ大坂堂島停車場用
地壹万八百貳拾九坪四合許不用ニ屬スルヲ
以テ(西成郡曾根崎村)是日内務省ヘ納付ス(過
五月十五日梅田令ニ據ラザルハ坂)○三十日坂
神間鐵道布設既ニ成ルヲ以テナリ)○三十日坂
神間運輸課守線手「ホ」ニトメ「シ」クナルメ
シノ賄料ヲ增加ス是レ發車度數ノ加ハルヲ
以テナリ○是歲一月ヨリ本月ニ至ル神戸運
輸課ノ常額經費ノ總計ハ金六万四千零九拾
三四拾七錢四厘洋銀壹万三千零拾壹弗八セ
ント許ニシテ收入ノ總計ハ金拾万七千百三

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

四七拾三錢貳厘洋銀四百六拾九弗許トス而
シテ七月以來ノ計算ハ過ル五月ノ令條ニ據
リ會計年度ヲ以テ表ニ掲ルモノトス以下之
ニ準ス

九月五日暫ク洛東ノ測量ヲ罷メ目途金拾壹
万九千三百円ノ内三万貳千五拾三圓九拾錢
ヲ減シ八万七千貳百四拾六圓拾錢ヲ以テ七
月以降ノ諸費ニ充ツヘキ省議ヲ決ス○廿日
午前六時大坂停車場ニ於テ客車荷車連合ノ
際驛夫吉田秀章列車ニ撞觸レ為メニ顛跌シ
テ左足ヲ輕傷ス是レ運轉方英人「ロ」ツク氏
ノ過失ニ出ツルヲ以テ増給約定期限一ヶ月
ヲ延ハ其罪ヲ罰ス

外國人の給料渡
方ヲ里内ノ三種
ニ分ツ

十一月一日坂神間發車時限午後十時發止
 又更ニ大坂ハ午後八時三十分神戸ハ八時二
 十五分ニ改メ其旨ヲ頒布ス
 十二月是年備使外國人ノ職務給料及ヒ任處
 等ヲ二季ニ分ツテ調査シ之レヲ左表ニ掲ク
 九ツ當局備外國人ノ給料渡方ハ之レヲ甲乙
 丙ノ三種ニ分ツ而シテ甲ハ家族分與金トシ
 乙ハ豫備金トス丙ハ甲乙ヲ除クノ外悉皆本
 人ニ交付スルモノヲ云(家族分與金ハ本國銀
 ヲ家族ニ分與ヒシ員數ノ報シ豫備金ハ非常
 洋銀行ニ支辨スルモノトシ豫備金ハ非常
 二供スル爲メ會計方
 二預リ置クモノトス)

自八年一月
至同六月
備外國人明細表

國名	職名	人	名	給料	備年	月	任處
英	建築 首長	全	アルワイボイル	月給 千貳百弗	壬申七月廿八日ヨリ		神戸
全	建築 副長	全	ゼーエングランド	七百五十円	庚午四月十六日ヨリ		大阪
全	建築 師	全	ゼームスエトワルトデー	三百五十円	六年八月十四日ヨリ		米原名古 屋間
全	全	全	エドモンドクレゴリトホギ	四百五十円	六年九月十日ヨリ		全
全	全	全	トーマスエムライナルジニス	三百五十円	六年九月十日ヨリ		京坂間
全	全	全	トーマスアルセルウイントン	四百五十円	六年十月八日ヨリ		米原名古 屋間
全	建築 首長 書記	全	エトワルト、ニエーコムフ	三百五十円	六年十月八日ヨリ		全
全	汽車 監察 方	全	ジョルジヘンリーポール	三百円	六年十月八日ヨリ		神戸
全	會計 長	全	クリステー	四百弗	辛未八月十六日ヨリ		東京
全	工	全	エーエス、オールドリッチ	四百円	辛未十二月廿四日ヨリ		横濱
全	工	全	クロス、ヘンリー	日給 四百円	壬申八月八日ヨリ		神戸

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
汽車組立 造形製造方	鑛造 管方	全	塗方頭取	全	繪畫師	汽車監察	荷車繫 兼組立方	倉庫方	運築方	運輸方	木工頭取	建築師
ウチルリヤム、テムペスト	エドワード、コックヌ	ジョン、レウイス	アントリユース	ウキルリアム、シヤープ	ウキルリアム、モルレー	ウオルトル、マカルセル、スミス	ヘンリー、ハフトン	ウキルリアム、ジョルジ、グラム	ウエルリヤム、フルニス、ボツェン	ウオルトル、フィンチ、ペーシ	チヨニス、ゴフ	ジヨニ、ブラウニン、ヨング
全	全	全	日給 三回貳拾九錢	全 貳百貳拾九回拾錢	全	月給 三百三拾三回拾錢	日給 八回貳拾錢	全 百拾七回五拾錢	全	月給 三百七拾五回	日給 四回拾貳錢	月給 三百五拾回
七年五月廿日ヨリ	七年五月六日ヨリ	七年五月六日ヨリ	七年五月六日ヨリ	七年四月八日ヨリ	七年四月八日ヨリ	七年四月八日ヨリ	六年五月十五日ヨリ	七年二月廿五日ヨリ	七年二月廿五日ヨリ	七年二月十七日ヨリ	六年十二月三日ヨリ	六年十二月十九日ヨリ
全	東京	横濱	京坂間	大阪	全	神戸	東京	神戸	加納 坂間	神戸	西京	大坂

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	英	
石工頭取	木工頭取	全	汽車轉配 兼組立方	鑛製 造方	汽車轉配 造方	全	道布方	全	全	全	全	全	汽車轉 配造車方
トマス、ウラー、カル	ゼームス、イーシュー、プル	リチャード、イーグル	ヒュー、ブラウン、ウエップル	ヘンリー、ジヨニ、フエニル	リチャード、キンタ	チャールス、ニエートン	ガヨル、ゲイム、ヒー	ヘルベルト、ブリストウ	エドワード、マルチン	ガヨン、ゲアルリス	ガヨングレー	ガヨル、ジ、クリップ	日給 四回
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
四回拾貳錢	四回拾貳錢	三回五拾錢	三回五拾錢	三回五拾錢	貳回九拾六錢	三回五拾錢	三回五拾錢	三回五拾錢	三回五拾錢	三回五拾錢	五回	四回	六年六月十八日ヨリ
六年九月廿四日ヨリ	六年九月廿四日ヨリ	六年九月十日ヨリ	六年九月十日ヨリ	六年八月廿七日ヨリ	六年八月廿七日ヨリ	六年八月十三日ヨリ	六年八月十三日ヨリ	六年八月十三日ヨリ	六年八月十三日ヨリ	六年五月二日ヨリ	六年五月二日ヨリ	六年六月十八日ヨリ	京濱間
全	京坂間	東京	全	神戸	東京	神戸	京坂間	神戸	全	東京	神戸	京濱間	

全	全	全	全	英	フヒラ	全	全	全	全	全	全	全	全
書記役	全	建築 助役	内 巡 役	鉄 道 方	建築 助役	建築 副役	全	建築 助役	書記 役	建築 副役	全	全	器 械 取 付 方
ゼ、エム、ブルックス	ジヨ、ガイアック	シーエス、エス、アカン	ヘルレン、ドール	デンニ	エノル、デンステット	トーマス、グレー	キングドル、コロート	セフトル、シヤン	ゼ、アル、スミツス	テユー、ウイング	ジヨ、ジナシキベル	ローベルト、ブラック	
全	全	月給	全	日給	全	全	全	全	全	月給	全	全	全
百貳拾五円	四百貳拾四	貳百五拾四	三円五拾錢	三円五拾錢	三百五拾四	三百五拾四	貳百五拾四	貳百五拾四	貳百五拾四	三百五拾四	貳百九拾六錢	貳百九拾六錢	貳百九拾六錢
辛未三月十一日ヨリ	庚午三月一日ヨリ	七年二月十日ヨリ	壬申三月八日ヨリ	辛未四月七日ヨリ	壬申十一月廿八日ヨリ	庚午七月七日ヨリ	六年五月廿一日ヨリ	辛未七月廿二日ヨリ	壬申八月廿一日ヨリ	辛未十一月十六日ヨリ	八年二月廿四日ヨリ	八年二月廿四日ヨリ	八年二月廿四日ヨリ
大坂	西京	加納名古 屋間	東京	横濱	神戸	大坂	加納名古 屋間	京阪間	横濱	米原名古 屋間	全	神戸	神戸

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	英	
全	石工	全	汽車 運轉 兼 組 立 方	全	汽 車 運 轉 方	全	客 車 荷 車 運 轉 方	全	鉄 條 敷	全	水 潜 夫 頭	全	英 汽 車 組 立 兼 轉 取 方
リ、ホルスレー	ジヨ、カリン、スミツス	トーマス、ウヰルキンソン	リチャード、ウヰルキンソン	トーマス、ホロツク	アンドロウ、ヨング	ジヨ、バク、ラッチレー	セームス、エーウヰル	シヨス、フ、ピツキン	シヨ、ン、ピツキン	アレキサンダー、ソザラド	ジヨ、ン、ワード、ベツド	チャーレス、ジヨ、ン、ギブソン	
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	日給	
四円拾五錢	四円拾五錢	貳百九拾六錢	貳百九拾六錢	貳百九拾六錢	貳百九拾六錢	四円八拾錢	四円八拾錢	三円三拾錢	三円三拾錢	四円拾錢	四円拾錢	三円五拾錢	
八年三月九日ヨリ	八年三月九日ヨリ	七年十一月十八日ヨリ	七年十一月十八日ヨリ	七年十一月四月ヨリ	七年十一月四日ヨリ	七年九月廿三日ヨリ	七年九月廿三日ヨリ	七年八月十二日ヨリ	七年八月十二日ヨリ	七年七月廿九日ヨリ	七年七月一日ヨリ	七年五月廿日ヨリ	
京阪間	西京	全	東京	全	神戸	東京	神戸	京阪間	横濱	全	全	京阪間	

獨逸	全	全	全	全	全	全	全	全	全	英	合衆	全
巨頭取	全	大工	器械取 付方	道敷方	汽車運 轉方	器械取 付方	裝車方	建築 助役	繪師	鐵道 敷方	医官	建築 頭取役
ハンス、ペタルソン	チエル、ヘーレム	チエル、キング	ウヰルリアム、ロベールト	セーエス、ラミン	ホール	エツケ、マシウヌ	タフリ、コロブル	ジールセル	ゼー、ヒト、ギーキー	チョー、ダ、スミツス	ゼー、ハリーリス	アナント
全	全	全	全	全	全	全	日給	全	月給	日給	全	月給
三円	五円	五円	四円	貳圓六拾三錢	四円	貳圓五拾錢	四円	三百円	貳百円	三圓五拾錢	三百円	百九拾貳圓
七年六月八日ヨリ	庚午七月七日ヨリ	庚午七月七日ヨリ	八年四月廿八日ヨリ	七年一月十日ヨリ	壬申四月廿四日ヨリ	六年八月十一日ヨリ	六年十二月十九日ヨリ	七年三月廿八日ヨリ	六年九月廿二日ヨリ	庚午七月七日ヨリ	壬申一月廿二日ヨリ	辛未三月五日ヨリ
京阪間	品川	全	東京	神戸	横濱	全	神戸	西京大 津間	大坂	横濱	神戸	横濱

英	瑞典	全	全	全	全	英	噶	全	全	全	全	英
器械取 付方	器械轉 駝方	汽車器 械方	建築師	医師	建築 助役	建築 副役	繩方	道敷方	倉庫書記	全	汽車運 轉方	倉庫方
ジョンシヤールス	ゼー、ストラシベルグ	トロツター	ゴールウエー	ソーニ、クラフト	ウヰルリアム、ロザルス	エト、ブルユーブランデル	チャレス、タムソン	ゼームス、ニエートレ	ジョン、セー、カウ、テロイ	ジヨセフ、ラグデン	ゼームス、イステース	ダフル、エー、チ、デアス
全	全	日給	全	全	全	月給	全	日給	月給	全	日給	月給
三圓五拾錢	四円	四円	六百円	百円	四百円	四百円	三円	三円	八拾円	三圓五拾錢	三圓五拾錢	百貳拾四
八年一月廿日ヨリ	六年六月十三日ヨリ	辛未九月十三日ヨリ	辛未二月二日ヨリ	八年三月一日ヨリ	壬申六月廿七日ヨリ	辛未五月廿九日ヨリ	六年五月一日ヨリ	八年二月十七日ヨリ	七年十二月廿三日ヨリ	七年十一月廿三日ヨリ	七年十一月廿三日ヨリ	七年七月十六日ヨリ
全	神戸	東京	草津長 濱間	神戸	横濱	京阪間	大阪	横濱	全	全	全	神戸

英	全	全	全	米	英	全	合計
汽車掛 書記	建築長 副役	汽車器 械方	鉄道 敷方	全	道敷 監督	器械取 并轉取 方	
ジョン、エー、ロー井	シツパルト	タンケン、グレー	ウヰルリアム、シヨ	ウヰルリアム、エトケル ス	ダビット、サムソン	エトワード、ウヰツキ	百三十四人
月給 八拾四	全 五百貳拾五	日給 四円	全 貳拾六拾三	全 三百五拾錢	全 三円	全 四拾五錢	全 四円
八年一月一日ヨリ	庚午五月九日ヨリ	辛未十月八日ヨリ	壬申八月八日ヨリ	壬申八月八日ヨリ	七年十月廿六日ヨリ	六年九月廿四日ヨリ	六年八月八日ヨリ
神戸	東京	全	京阪間	西京	京阪間	神戸	全

自八年七月
至同十二月
備外國人明細表

英	全	全	全	全	全	全	全	全	全	英	國名
建築師	副役	建築長	建築師	建築師	建築師	建築師	建築師	建築師	建築師	建築師	職名
ゼームスエトワルトデー	エトモンドグレコリーボザ	エトモンドグレコリーボザ	エトモンドグレコリーボザ	エトモンドグレコリーボザ	エトモンドグレコリーボザ	エトモンドグレコリーボザ	エトモンドグレコリーボザ	エトモンドグレコリーボザ	エトモンドグレコリーボザ	エトモンドグレコリーボザ	人
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	名
七百五拾四	四百四	五百四	四百四	四百四	四百四	四百四	四百四	四百四	四百四	四百四	給料
庚午四月十六日ヨリ	六年八月十四日ヨリ	六年九月十日ヨリ	六年九月十日ヨリ	六年九月十日ヨリ	六年九月十日ヨリ	六年九月十日ヨリ	六年九月十日ヨリ	六年九月十日ヨリ	六年九月十日ヨリ	六年九月十日ヨリ	備年月
大坂	米原名古 屋間	全	京阪間	京阪間	京阪間	京阪間	京阪間	京阪間	京阪間	京阪間	任處

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
汽車組立兼 雛形製造方	鑛造營方	全	塗方頭取	全	繪圖師	汽車監察	荷車頭取 兼組立方	倉庫方	建築方	運轉方	木工頭取	建築師
ウヰルリアム、テムパスト	エトワート、フックス	ジヨン、レウイス	アントリユース	ウヰルリアム、ミヤーフ	ウヰルリアム、モルレー	ウォルトル、カセ、ミズ	ハニリー、ハフトン	ウヰルリアム、ジョール、ガラム	ウヰルリアム、ブルニス、ポツル	ウォルトル、フェニ、チャドシ	ヂヨング	ヂヨング、ブラウニ、ヨング
全 三回五拾銭	全 三回五拾銭	全 四回	日給 四回	全 貳百五拾回拾銭	全 貳百五拾回	月給 三百三拾回三拾銭	日給 八百貳拾回拾銭	全 八百八拾回五拾銭	全 三百五拾回	月給 三百七拾五回	日給 四回拾貳銭	月給 四百回
七年五月廿日ヨリ	七年五月六日ヨリ	七年五月六日ヨリ	七年五月六日ヨリ	七年四月八日ヨリ	七年四月八日ヨリ	七年四月八日ヨリ	六年五月十五日ヨリ	七年二月廿五日ヨリ	七年二月廿七日ヨリ	七年二月十七日ヨリ	六年十二月三日ヨリ	六年十一月十九日ヨリ
横濱	東京	横濱	神戸	大阪	全	神戸	東京	神戸	米原名古 屋間	神戸	東京	全

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	英	
石工頭取	木工頭取	全	汽車轉馳 兼組立方	鑛製造方	汽車轉馳 造車方	全	道布方	全	全	全	全	全	汽車轉馳 造車方
トーマスウヲーカル	セームスイークーポル	リチャルトイーゲル	ヒューアロウケンウツポル	ヘンリージョニフエンチル	リチャルドキンガ	ヂヤールスニエートン	ゲドルヂイムポー	ハルベルトブリストウ	エトワルトマルチン	ヂヨング、エルリス	ヂヨング、グレー	ヂヨルジ、クリツポ	
全 四回拾貳銭	全 四回拾貳銭	全 三回五拾銭	全 四回	全 四回	全 四回	全 三回五拾銭	全 三回五拾銭	全 四回	全 四回	全 四回	全 五回	日給 四回	
六年九月廿四日ヨリ	六年九月廿四日ヨリ	六年九月十日ヨリ	六年九月十日ヨリ	六年八月廿七日ヨリ	六年八月廿七日ヨリ	六年八月十三日ヨリ	六年八月十三日ヨリ	六年八月十三日ヨリ	六年五月二日ヨリ	六年五月二日ヨリ	六年六月十八日ヨリ	六年六月十八日ヨリ	
全	京阪間	東京	全	神戸	東京	神戸	京阪間	神戸	全	東京	神戸	東横間	

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
役	書記	建築	石工	器	汽	全	全	路	全	全	全	全	全
建築助	書記	建築	石工	器	汽	全	全	路	全	全	全	全	全
セラドル、シヤン	ゼー、アル、スミツス	テューウイング	グビット、ランドルス	ジヨージ、シヨージェ	ジヨージ、ハーンス	トーマス、ビンダム	チャールズ、リークス	ヘンリー、コリス	トーマス、スコット	トーマス、ベラミー	ジヨージ、ナキヘル	ローベルト、グラック	番
全	全	月	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	取
三百圓	貳百五拾圓	四百圓	四圓拾五錢	貳圓九拾六錢	貳圓九拾六錢	貳圓九拾六錢	貳圓九拾六錢	貳圓九拾六錢	貳圓九拾六錢	貳圓九拾六錢	貳圓九拾六錢	貳圓九拾六錢	付
辛未七月廿二日ヨリ	壬申八月廿一日ヨリ	辛未十一月十三日ヨリ	八年九月八日ヨリ	八年八月廿五日ヨリ	八年七月廿八日ヨリ	八年七月廿八日ヨリ	八年七月廿八日ヨリ	八年七月廿八日ヨリ	八年七月十四日ヨリ	八年七月十四日ヨリ	八年七月十四日ヨリ	八年二月廿四日ヨリ	方
京阪間	横濱	米原名 古屋間	東京横 濱間	全	横濱	京阪間	横濱	京阪間	全	東京	神戸	全	方

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	英
全	石工	全	汽	全	全	全	全	全	全	全	全	英
全	石工	全	汽	全	全	全	全	全	全	全	全	英
リ、ホルスレー	ジヨン、カヒン、スミツス	トーマス、ウヰルキンソン	リチャード、ウヰルキンソン	アンドリウ、ヨング	ジヨージ、クラツチレー	セームス、ニエーウヰル	シヨス、フヒツキン	フレキサンドル、ソザエド	シヨニ、ウードベツト	シヨニ、ウードベツト	シヨニ、ウードベツト	兼
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	英
四圓拾五錢	四圓拾五錢	貳圓九拾六錢	貳圓九拾六錢	貳圓九拾六錢	四圓八拾錢	四圓八拾錢	三圓三拾錢	四圓拾錢	四圓拾錢	四圓拾錢	三圓五拾錢	兼
八年三月九日ヨリ	八年三月九日ヨリ	七年十一月十八日ヨリ	七年十一月十八日ヨリ	七年十一月四日ヨリ	七年九月廿三日ヨリ	七年九月廿三日ヨリ	七年八月十二日ヨリ	七年七月廿九日ヨリ	七年七月一日ヨリ	七年七月一日ヨリ	七年五月廿日ヨリ	英
全	京阪間	全	東京	全	東京	全	神戸	横濱	全	京阪間	神戸	英

全	全	全	全	英	米	伊太利	澳門	英	昇曼	全	全	全
全	道敷方	砂利運轉方	送車方	大工	書記役	時計製總方	建築首長附書記役	建築副役	細方	全	書記役	醫師
エー、テイロル	ゼー、コロム	エッチ、ロベルツ	フントニー、カール	ジヨルミ、マイトン	ウ井ルリアム、ゲトボルト	ヒートロ、バルツカ	エス、ウイリベロー	ミー、ハーデー	トーマス、コニウエル	ソル、ア	チャリス、ウオース	ウイローラ
全 三四	全 三四	全 三四五拾錢	全 四回	日給 三四八拾三錢	全 七拾五回	全 七拾五回	全 八拾回	月給 三百回	日給 三四拾錢	全 百五拾回	全 百回	月給 百帛
六年七月十六日ヨリ	六年七月十六日ヨリ	六年六月十三日ヨリ	六年六月一日ヨリ	六年五月十七日ヨリ	六年五月八日ヨリ	壬申六月廿六日ヨリ	六年三月八日ヨリ	壬申十月廿二日ヨリ	壬申十月十八日ヨリ	壬申八月七日ヨリ	壬申十月一日ヨリ	辛未五月十四日ヨリ
全	京阪間	神戸	横濱	京阪間	神戸	東京	神戸	米原名古屋間	神戸	横濱	全	東京

全	全	全	全	全	全	全	全	英	フヒラ	全	英	
汽車運轉方	汽車番機方	倉庫方	全	全	書記役	全	全	建築助	巡見役	建築助	副建築機	建築助
ゼームス、ロベルトソン	エス、カスウエル	スウ、イフト	エー、ウ井ルソン	ジヨージ、エリヲット	ゼー、エム、ブルーク	ジヨニ、グイフツク	シ、エス、エフ、アカン	ヘルレン、ドール	エンノルテンス、テット	ガンニ	トーマス、グレー	キンドル、ゴロド
全 四回	日給 八回	月給 百貳拾五回	日給 三四八拾三錢	全 百貳拾五回	全 百貳拾五回	全 四百貳拾回	月給 貳回五拾錢	全 三四五拾錢	全 四百回	全 四百回	月給 貳百五拾回	月給 貳百五拾回
辛未八月一日ヨリ	壬申十月一日ヨリ	壬申八月廿九日ヨリ	壬申八月廿九日ヨリ	壬申六月廿七日ヨリ	辛未三月十一日ヨリ	庚午三月一日ヨリ	七年二月十日ヨリ	壬申三月八日ヨリ	辛未四月七日ヨリ	壬申十一月廿八日ヨリ	庚午七月七日ヨリ	六年五月廿一日ヨリ
京阪間	神戸	東京	京阪間	神戸	大阪	西京	米原名古屋間	神戸	横濱	神戸	大阪	米原名古屋間

全	全	全	全	全	全	全	全	全	英	字	噠	
道敷方	倉庫書記	全	汽車運轉方	倉庫方	汽車番並夜番	冶工	道敷方	繪圖師	建築手	器械取付方	繪圖師	網方
ゼームス、ニエートン	ジョンゼーガウ、ロー井	ジヨゼス、オクテン	ゼームス、イステース	ダブルエー、エーチ、テアス	アール、ウアート	ゼー、カーロール	リイリー、ウ井ルリアム	イーエス、カートマン	ウ井ルリアム、ワット	ゼー、マケンジー	エッチ、ハートマン	エニ、シー、ラスムセン
日給 三四	月給 八拾四	全 三四五拾錢	日給 三四五拾錢	月給 百貳拾四	全 四	全 三四五拾錢	日給 三四五拾錢	月給 百五拾四	全 四	日給 四	月給 百五拾四	日給 三四
八年二月十七日ヨリ	七年十二月廿三日ヨリ	七年十一月廿三日ヨリ	七年七月十六日ヨリ	七年六月一日ヨリ	七年二月廿三日ヨリ	七年四月一日ヨリ	七年一月廿二日ヨリ	六年九月四日ヨリ	六年八月十一日ヨリ	六年七月廿四日ヨリ	六年七月八日ヨリ	六年七月八日ヨリ
京阪間	全	全	全	神戸	横濱	京阪間	大坂	神戸	大坂	神戸	大坂	神戸

英	獨逸	全	全	全	全	英	合衆	全	全	全	英	噠
汽車書記	石工頭取	大工	大工	器械取付方	道敷方	全	醫師	器械取付方	汽車書記	建築助役	建築掛副役	繩方
シヨン、エー、ロイー	パンヌ、ペタルソン	チエルヂ、ハーレム	チエルヂ、キング	ウ井ルリアム、ロベルト	セト、エス、ラミン	ソーニ、クラフト	トーマス、ホルトリップル	トーマス、ストー	ゼー、シー、ノー	ウ井ルリアム、ロゲルス	エー、ダゲル、エー、ブエ、ダゲル	チャレス、ダムソン
月給 八拾四	全 三四	全 五	全 五	全 四	日給 貳四六拾三錢	全 百	月給 貳百四	日給 三四	全 八拾四	全 四百貳拾四	月給 四百貳拾四	全 三四
八年一月一日ヨリ	七年六月八日ヨリ	庚午七月七日ヨリ	庚午七月七日ヨリ	八年四月廿八日ヨリ	七年一月十日ヨリ	八年三月一日ヨリ	八年八月一日ヨリ	八年八月十八日ヨリ	八年九月六日ヨリ	壬申六月廿七日ヨリ	辛未五月廿九日ヨリ	六年五月一日ヨリ
神戸	京阪間	全	全	東京	京阪間	神戸	大坂	京阪間	神戸	横濱	全	全

英	副建築長	シツパルト	月給 五百貳拾五圓	庚午五月九日ヨリ	東京
全	汽車器 械方	タンケン、グレー	日給 四圓	辛未十月八日ヨリ	全
全	鐵道敷 方	ウヰルリアム、シヨール	全 貳百六拾三圓	壬申八月八日ヨリ	京阪間
全	全	ウヰルリアム、エトワルス	全 三圓五拾錢	壬申八月八日ヨリ	西京
米	塗匠	グビツド、サムソン	全 三圓	七年十月廿六日ヨリ	京阪間
英	道敷監 督	エトワート、ウヰルリヤ	全 四圓拾五錢	六年九月廿四日ヨリ	東京 濱間
全	頭取役	フランク、ハフトン	全 三圓	八年九月十四日ヨリ	京阪間
全	ステーション 巡見役	ゼー、エー、ホットソン	全 貳圓五拾錢	八年七月一日ヨリ	東京
全	器械取付 花轉駝方	シー、マーチン	全 四圓	六年八月八日ヨリ	神戸
合計		百二十五人	全 銀貳千七百七拾五錢 銀貳千五百八拾五錢		

明治九年三月九日午前八時神戸駅汽車庫ヨリ

失火下等客車一輛燒止シ汽罐車及ヒ中等客

車二輛焦毀ス

四月十三日西ノ宮停車場ニ於テ米人サムソ

ン、泥酔ニ乘シ妄状ヲ現ハシ同車ノ京都府平

民中村佐兵衛外三名ヲ打擲シ負傷セシメタ

ルヲ以テ全國領事館ニ告ケ禁獄百八十日罰

金百弗ニ處スト云

五月廿五日郵便汽船三菱會社ノ船積荷物坂

神間及ヒ京坂間共汽車ヲ以テ運輸致シ度ク

出願ノ旨ヲ許可ス(下文七月ノ條)○是月洛東

線測量從事ノ英人工帰國ヲ許シ旅費ヲ賜フ

各差アリ

洛東線測量從
事、英人工帰國
許可

神戸停車場
鐵製棧橋落成

六月十日坂神間鐵道旅客並ニ貨物賃金表ヲ
改正頒布ス○廿七日神戸停車場構内海岸ノ
鐵製棧橋落成(此經費金三万弗許トス)來ル七月一日ヨリ
開場諸貨物陸揚ケ及ヒ錨標工諸船繫泊差許
スニ付志願ノ者ハ全所停車場ニ於テ保全規
則和横文申受ク可ク旨ヲ布達ス○是月昨八
年七月以來坂神間ノ瀛車乗客貨物ノ員數並
ニ收入支出ノ金額ヲ總計スル左表ノ如シ

年	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	合計
乗客ノ數	七八七六三	七八七六六	八四九九五	八五〇八八	八一七二六	七四三七五	七二八五六	八四四七七	九三〇四五	一〇九〇五〇	九二七二四	六四九九九	一〇〇〇、三八四
貨物量目	一五〇七七 八〇三二斤個	一五一三一 五八七一	一四九八 五三二二	一〇六七三 六五七二	一三三七七 七八三〇	一一八一 五〇三三	一一〇五三 五四三九	一一〇五三 五四三九	一三一九一 六四二九	九四九七 六三六五	一四八五二 六九九八	一〇四五六 五八五六	一五四八〇 七五〇六一
乗客賃金	一七五九〇〇二九	一七〇二五二七五	一八二四〇六四〇	一八三三五一五	一七、五六一八八五	一六、三〇二八二五	一九、二九八五五	一七、四〇七九〇〇	一九、六九八二三〇	二二、五〇五三七〇	二〇、五三〇九〇五	一四、八一七三〇	二二、五三〇八二六九
貨物賃金	一五五二二七四	一五三九八八六	一六六六六〇	一四九六二六三	一五〇七七四三	一、二四九四六	一、四二六〇〇〇	一、四二六〇〇〇	一、六二二八二九	一、三二二八三四	一、五九八三四七	一、三二二二六二	一、七八七三、五五五
費用金	五、九八九〇九八	九、三三七二二	九、八四七九〇	一〇、七五九一三三	一一、八七六一九八	一〇、五二五〇三三	一〇、五七二五九六	一〇、五七二五九六	一〇、〇八八二八八	一一、七〇四三四	一七、七四六二〇六	二二、八四六〇二二	一四、三三四三九九三
差引殘不足	一三、一五二二〇五	九、二四七九四九	一〇、〇五九三三〇	九、〇七二二七五	七、二六一九四六	六、〇一九〇六九	八、二六一三〇七	八、二六一三〇七	一、二二二二七二	一、二二二二七二	四、三八二九四六	五、七二二二九九	九、〇、八三七三三

神戸鐵道棧橋
開業專行保全
規則改正

七月一日神戸鐵道棧橋開業專行保全規則中
 第四條ヲ改正ス○是月鐵道棧橋ニ於テ諸債
 物船積ノ順序及ヒ借庫板方規則ト題セル條
 約ヲ鐵道局ト神戸税關トノ間ニ設ク而シテ
 外國船ハ税關ノ免許ヲ經テ來ル者ニ非レハ
 繫泊スルヲ許サス又郵便汽船三菱會社ト假
 條約ヲ結ビ物貨運輸ノ為メ若干ノ列車ヲ該
 社ニ貸與シ安治川及ヒ大坂神戸間ヲ日ニ輸
 送セシム而シテ其賃金尙列車ハ金三十拾圓十
 輛未滿ハ尙輛毎ニ金尙四五拾錢十輛以上ハ
 尙列車ニ準シ賃金ヲ徵收シ又尙輛ニ滿リカ
 ルノ物品ハ一般定則ノ賃金ニ照シテ徵收ス
 ルモノトス○廿六日郵便物輸送ノ為メ驛遞

大坂ヨリ向日町マテ
布設竣工旅客運
輸ノ業ヲ開ク

吹田茨木山寄三停
車場ヲ開ク

局ノ依頼ヲ受ケ一ヶ月金百貳拾五圓ノ約定
 ヲ以テ緩急車ノ一室ヲ貸與シ大坂向日町間
 ヲ輸送セシム○廿八日京坂間ノ鐵道線大坂
 ヲリ向日町ノ中間布設竣工本日ヲ以テ旅客
 ノ運輸ヲ開ク而シテ中間ノ停車場ハ獨リ萬
 規ヲ開クノミ汽車發著時限賃金及ヒ携帶荷
 物賃金ハ在來ノ表ヲ増補シ之ヲ頒布ス
 八月九日京坂間鐵道大坂ヨリ向日町ノ中間
 吹田茨木山寄ノ三停車場ヲ開キ發停時刻並
 ニ賃金表ヲ改正頒布ス○是月例規ヲ設ケ外
 國人ノ汽車ニテ入京ヲ欲スル者外國官吏或
 ハ外務省ノ允許ヲ得タルニ非ラザレハ之ヲ
 許サス然レモ其國領事ノ保證ヲ得テ在留地

京都大宮通三假
停車場ノ開ク

方廳ノ免狀ヲ所持スル者ニハ特ニ乗車券ノ
賣與ヲ許可ス

九月五日京都大宮通ニ假停車場ヲ開キ是日
ヲ以テ京坂間ノ運輸ヲ妨ヒ而シテ發傳時刻

並ニ賃金表ヲ改正頒布ス(京都停車場工業未
本位構外ニ假乗車場ハ之ヲ設テ旅客ノ便ニ供ス)

坂神京坂ノ二稱ヲ
改メ京神間ト稱ス

○七日京坂間試運轉開業ニ付支収ノ計算坂
神京坂ノ二稱ヲ改メ京神間トシ一線路ノ

計算ヲ以テ七月以降ノ内譯表ヲ調製ス○十
九日洛東其他線路測量ノ標杭保存費トシテ

京坂間鐵道ニ屬
スル電線架設落成

本年定額常費豫算高工金千四ヲ増加セラル
○廿八日京坂間ノ鐵道ニ屬スル電線架設落
成是日ヲ以テ高槻電信局ヲ開ク

京坂間運輸科
定額常費ノ定ム

十月五日京都大宮通鐵道ニ屬スル電信假局
ヲ開ク○六日京坂間鐵道運輸開業ニ付一週
年度ノ定額常費ヲ金九万九千五百七拾五四
ニ定メラル

工部省中諸寮ヲ
廢シ更ニ十局ヲ置
キ井上勝鐵道局長
長トシテ

明治十年一月十一日工部省中ノ諸寮ヲ廢シ更
ニ十局ヲ置カル而シテ鐵道局長ニ命セラレ尋テ大野
テ工部少輔井上勝局長ニ命セラレ尋テ大野
誠権大書記官ニ杉實信飯田俊徳伊東勅典
野田益晴少書記官ニ穎川君平権少書記官ニ
任セラル而シテ大野誠杉實信ハ東京新橋橫
濱間運輸局ノ事務ヲ管理ス
二月一日大坂鐵道局ニ於テ廢寮ニ付解職吏
員ノ内ヨリ更ニ四等屬以下十等屬ニ至ル五

車駕京都大坂神
戸三停車場
臨御鐵道開業
式ヲ行フ

大宮通區停車場
場設入電信局
本停車場ニ
移ス

京都停車場成

十九名七等技手以下十等ニ至ル十七名日給
傭七十五名ヲ撰用ス○五日

車駕京都大坂神戸ノ三停車場へ

臨御鐵道開業式ヲ行ハセラル各廳勅奏任官

及ヒ各國領事等參會ス是日民庶ニ縱觀ヲ許

サレテ開業式經費金壹万圓豫算外別途金トシ

ト云是レ比ハ初度ノ経験ニ於テ節減ノ方

法ヲ得ル○六日大宮通リ仮停車場ニ設ル電

信仮局ヲ京都本位停車場ニ移ス

三月十二日京都停車場落成是日西南ノ役軍

人用具ノ運輸頻繁ナルヲ以テ京坂間列車出

發度數六回ノ外更ニ四回ヲ增加ス茲ニ於テ

列車不慮ノ危害ヲ豫防セシカ爲メトレイン

テケットト及ヒトレインスタトヲ施行ス○

十三日大坂驛長助役田中某上リ列車全驛ヨ

リ吹田へ發輒ノ際トレインスタトノ授與

ヲ誤リ夫カ爲メ下リ列車各時刻發程ノ期ヲ

失シ最後ノ發車迄ニ逐次期ニ後ル、ト約一

時間余是ヲ以テ懲戒例ニ照シ某ノ月俸半額

ヲ徴収ス

六月五日京神間發着時限債金表ヲ改正頒布

ス○西南擾亂以來兵隊並ニ陸軍用具ヲ輸送

シ且ツ負傷者等ヲ輸送スルカ爲メ臨時車ヲ

發スル是月ヲ以テ總計スルニ七拾六回許ト

ス○昨九年七月以來是月ニ至ル京神間汽車

乗客貨物ノ員數並ニ收入支出ノ金額ヲ總計

西南擾亂以來
臨時發車ノ總
計

正誤
此分注
刪除ス

シ以テ左表ニ掲ク而シテ京坂線開業以來京坂神ノ連接シ京神線ト稱スルヲ以テ旅客ノ數ハ前年度ニ比較シ能ハスト雖モ荷物ノ噸數ニ至テハ増殖著シク其賃金ノ收入前年度ニ増加スル金毫万三千四百六拾四余トス

合計	六月	五月	四月	三月	二月	一月	十年	十一月	十月	九月	八月	七月	九年
乗客ノ數	一三四七、二九三	一〇四、四七八	一五、六六二	一二六、六九五	一〇七、五一一	一〇四、二八六	一〇四、二八六	一一八、六三二	一一二、五五四	一一〇、三七九	九二、五〇七	六六、五三〇	六六、五三〇
乗客賃金	三六七、四三九	三二八、九七二	四三九、七四一	三六八、六四五	二九四、二二七	二八四、三八七	二八四、三八七	二八、九七〇	三〇、三三一	二九、五二六	二四、〇三八	一五、八七六	一五、八七六
貨物賃金	三〇、六六〇	二八四、五五七	三、六二〇	四〇、九七二	二七、三三三	二二、三三三	二二、三三三	二二、二五三	一、八一八	二、六七三	一、六〇三	一、四四〇	一、四四〇
三菱社 貸車賃	一五五、二〇〇	五五八	五三、五〇〇	九九七、五〇〇	一〇四、五〇〇	一、二〇九	一、二〇九	一、七五九	一、七七七	二、三八八	一、六六九	一、七三九	一、七三九
郵便輸送賃	二、五九九	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五	七四九	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
合計	二、五九九	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五	七四九	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
費用金	二、四八〇	三、五二〇	四、二九八	三、八九七	三、三〇六	三、三〇六	三、三〇六	三、三〇六	三、四〇二	三、九二七	三、三六〇	二、七四八	二、七四八
差引残	一一九	二八八	二〇〇	一、四九七	一、六九一	一、六八八	一、六八八	一、九六四	一、九六四	一、八三三	一、二四〇	一、二四〇	一、二四〇

滋養運輸妨礙者ノ處分ノ定ム

書記官伊東勅典病ヲ以テ本官ノ罷ム

建築師長イシケト氏病死遺賞金ヲ賜フ

七月四日大坂府下柴田利助一京坂間荷物運輸ノ為メ荷車ヲ貸與シ一輛ニ付賃金四円ノ割ヲ以テ三ヶ月間貸渡シノ約條ヲ定ム

八月四日瀛車運輸ノ妨礙ヲ謀リ守線手巡視ノ隙ヲ覘ヒ木石等ヲ線路ニ箱スル或ハ兎輩ノ戯ニ瓦礫ヲ堆積スル或ハ貧困ニ迫リ轢死ヲ期シ線路ニ投スル等幸ヒニ列車ノ危害ヲ免ルト雖モ沿道各村へ諭達シ百方豫防ノ末妨害者ノ處分明文ナキヲ以テ司法省へ稟議シ不應為津ニ處スヘキノ令アリ

九月七日少書記官伊東勅典病ヲ以テ本官ヲ罷ム

○十四日英人建築師長イシケランド氏病ニ罹テ死ス氏ハ明治三年京濱間鐵道創置

列車衝突車長石井徹一即死

際ヨリ京神間ノ築造其他中仙道ノ量地等ニ從事勉勵セシヲ以テ追賞金貳千円ヲ賜フ

十月一日午後八時廿五分神戸發上リ列車神戸ヲ距ル九七英里田辺村ニ於テ下リ列車ニ衝突シ車長石井徹一火夫某即死機関車扱方英人クリドヘッド負傷片眼ヲ盲ス下リ列車機関扱方英人ヘリンス負傷(病死)火夫某亦傷ヲ負フ是レ當時西南ノ役ヨリ凱旋ノ兵隊着港乗車雜還之ニ加フルニ暴雨雷鳴咫尺ヲ辨セス下リ列車發程時限ヲ誤ルニ因ルト云

石井徹一吊祭并ニ扶助料トシテ若干金ヲ賜フ

○十五日京神及ヒ坂神停車場内ノ地所貸與規則ヲ議定シ三菱會社ヲ始メ其情願ニ應

竹田春風工部少書記官ニ任シ京神間運輸事務ヲ掌ル

梅田停車場ヨリ曾根寄川達スル川路竣工

世治川線汽車ノ運輸ノ廢ス

シ貸與スルヲ許ス○十六日竹田春風工部少書記官ニ任シ鐵道局出勤ヲ命セラレ京神間運輸ノ事務ヲ管理ス
十一月十六日梅田停車場ヨリ曾根寄川ニ達スル川路掘鑿竣工ニ付諸物貨積卸シ等全所ニ於テ施行ノ旨ヲ頒布ス○廿四日安治川線汽車ノ運輸ヲ廢止シ該線ニ屬スル棧橋ノ如キハ恰當ノ價值ヲ以テ賣却或ハ貸與シ線路敷地ノ如キハ成規ニ從ヒ處分スルヲ議定ス是レ旅客ノ往復日ニ減少而シテ荷物ノ運輸ニ至テハ梅田停車場内へ船路ノ便ヲ得タルヲ以テナリ
十二月七日京神間發著時刻並ニ賃金表ヲ改

差配役カキル氏滿期賞金ヲ賜フ

正頒布ス○廿一日傭英人建築首長カキル氏滿期歸國ニ付賞與金貳千四ヲ賜フ○廿九日鐵道寮管内旅費凡例ヲ増補ス是レ京坂間汽車賃金ノ改正ニ依ルト云フ

正誤

○廿一日傭英人鐵道差配役カキル氏滿期歸國ニ付賞與金貳千四ヲ下賜セラレ過ル二月車駕京神へ臨御ノ際カキル氏天顏ヲ拜シ物品ヲ賜フ云